

■MRI検査（造影）注意事項■

1. MRI検査当日の来院時間等について

受付を済ませ、検査予約時刻の**20分前**までにこの【検査予約票】と【問診票・同意書】を1階⑩番受付に提出してください。

造影検査の場合は3ヶ月以内の腎臓・肝臓の血液検査結果を確認して行います。当日の血液検査結果が必要な場合がありますので、採血がある方は検査予約時刻1時間前までに採血を済ませておいてください。

※3ヶ月以内にかかりつけ医で採血されている場合は、その結果をお持ちください。

■造影検査注意事項をお読み頂き、問診票に記載・署名の上、検査時にお持ちください。■

造影剤を使用しなくても検査はできますが、病変が検出されなかったり、正確な診断ができない場合があります。造影剤の使用により、まれに副作用が発生することがあります。副作用が起こる頻度は、約2%といわれています。ほとんどが吐き気、じんましん等の軽度のものですが、まれに血圧低下、呼吸困難、不整脈、ショック等の重篤な副作用がおこることがあります。きわめてまれなものです。副作用による死亡例の報告もあります。腎障害(特に人工透析中)がある場合、全身の皮膚線維症という重篤な副作用が起こることがあります。アレルギーや喘息がある場合は、副作用が起こる頻度は数倍になることがわかっています。

2. MRI検査は、強力な磁石と電波を使用して体の深部を観察するものです。

体内に金属やMRI未対応のペースメーカーが挿入されている方は検査ができません。検査前に【金属がついている下着、時計、ヘアピン、入れ歯、エレキバン、補聴器、義手、義足等】は取り外してください。また【アイライン、マスカラ等】はしないでください。

コンタクトレンズ(カラー)は取り外して頂く場合がありますので、保管容器等をご準備ください。

★妊娠早期の方も注意が必要です。★

3. 造影剤を使用する場合は、副作用の危険性があります。

【問診票、同意書】にもれなく記載をお願いします。

4. 食事制限等について

『午前の検査の場合は朝食を、午後の検査の場合は昼食を』抜いて、水分摂取のみにしてください。

ただし、上腹部（肝臓、胆嚢、膵臓等）の検査の場合は、検査前1時間は水分も控ええてください。

※高血圧・心臓病の薬はいつも通り服用してください。
※糖尿病の内服・注射はせずにお越しください。

5. 胆嚢、膵臓の検査を受けられる方へ

検査前に造影剤（250ml）を飲んでいただきます。その際、誤嚥（ごえん）すると肺炎などを引き起こす可能性がありますので、この検査に不安な方は事前にお申し出ください。

6. 予約の取り消し等は必ず受診科へご連絡ください。